

屋内の安全対策

地震で建物が倒壊しなくても、家具の転倒やガラスの飛散等により、大きなケガをしたり逃げ場をふさがれたりします。事前に家具などの固定や配置方法の工夫を行い、屋内の安全性を高めておきましょう。

収納に工夫を

- タンスや本棚などにもものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにします。
- 本棚は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。

照明器具の補強を

- 吊り下げ式の照明器具は、チェーンなどで止めておきましょう。

置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に転倒防止のビニール樹脂状のものを入れ、壁にもたれ気味にします。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように、配置の工夫を。

地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさがせ位置に配置しないようにしましょう。

正しい配置

ガラスの飛散防止を

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

耐震金具を利用しよう

転倒防止金具

壁や柱と家具を固定するタイプと、床などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。

重ね留め用金具

重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。

扉・引き出し開放防止金具

地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを置いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけると安心です。

地震・津波が起きたとき、とるべき行動

地震発生時には、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。また、海岸付近で揺れを感じた場合は、すぐに津波が襲来することがありますので、津波警報や津波注意報の発表を待たず、ただちに高台などに避難しましょう。

- ### 地震・津波発生 地震の揺れから身を守る

 - 「頭を保護する」「大きな家具から離れる」「丈夫な机の下に隠れる」など、落ち着いて自分の身を守る。
 - ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。
- ### 安全の確認 避難の準備・開始 沿岸部では津波警報を待たずに、ただちに避難

 - 家族の安全を確認する。
 - 火の元を確認・初期消火を行う。
 - 足をケガしないように靴をはく。
 - 揺れがおさまったら、ただちに避難する。ただし、海岸付近にいる場合は、揺れと同時に避難する。
 - 非常持ち出し品等を用意する。
 - 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。
※復旧時の火災・事故を防ぐため
 - 地域の避難行動要支援者の手助けを行う。
- ### 情報の入手 情報の収集は安全な場所で行う

 - 安全な場所に移動してから、正確な情報を確認する。
 - 間違った情報や、うわさ、デマなどに惑わされないように注意する。
- ### 避難施設へ移動 一時的に避難した場所から、避難施設や自宅へ移動

 - 安全の確認ができたなら、一時避難した場所から、避難施設などに移動する。
 - 避難施設では、集団生活のルールを守り、助け合いの心を持つ。
 - 引き続き、災害情報・被害情報を収集する。

緊急地震速報を見聞きしたら…

周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保しましょう！

「緊急地震速報」は、地震によって大きな被害が出ると予想される地域を対象に、揺れが始まる前に、テレビ・ラジオ・防災行政無線などからみなさまに伝えられる情報です。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒～数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。



屋外の安全対策

地震の揺れにより、ブロック塀などが崩れてケガをしたり、ガスボンベなどが倒れるなどした場合に、火災やけがにつながる場合があります。事前に家の周囲を点検し、屋外の安全性を高めておきましょう。

壁・塀

- 壁や塀にひび割れなどがないか、腐ったりしていないか点検しましょう。
- ブロック塀は、地震の揺れにより崩れる可能性があるため、できれば安全な生垣などにしましょう。

撤去費の補助制度があります。
詳しくはこちらへ

ガスボンベ

- ガスボンベは、動かないように壁に固定しましょう。
- ガスボンベの周りには、物を置かないようにしましょう。

家庭では…

- 頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外へ飛び出さない。

自動車運転中は…

- あわててブレーキをかけない。
- ハザードランプを点灯し、安全な場所にゆっくり停止する。

屋外では…

- ブロック塀の倒壊等に注意。
- 看板や割れたガラスの落下に注意し、ビルのそばから離れる。

山やがけ付近では…

- 落石やがけ崩れに注意。

人が大勢いる施設では…

- 係員の指示に従う。
- 落ち着いて行動。
- あわてて出口に走り出さない。

エレベーターでは…

- 最寄りの階で停止させ、すぐに降りる。